

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・20〉 いわき市立久之浜第一小学校		
＜実施日＞	平成 28年 1月 19日（火）		
＜実践教科等＞	※当てはまる番号に○を付けてください。4は（ ）に教科等を入れてください。		
1 理科	② 学級活動	3 総合的な学習の時間	4 その他（ ）
＜実践内容＞			
<p>県教育委員会の「放射線等に関する指導資料」や「放射線ってなあに？」（副読本）を使って指導を行った。</p> <p>（1）身の回りにある放射線について知る。 ・宇宙線からの放射線 （例 ジェット機で東京～ニューヨークを往復したらどうなるのか？） ・大地からの放射線 ・食べ物や飲み物、呼吸によって取り込んだ放射線物質からの放射線 （図や写真を使って説明した。）</p> <p>（2）被ばくについて知る ・内部被ばく ・外部被ばく</p> <p>（3）放射線の利用について知る ・レントゲン、CT、PETなどに使われている ・宇宙の謎にせまる ・医療器具の殺菌をする。 ・植物の品種改良をする。 ・化石のできた年代を調べる。 （副読本を使って調べ学習をする。）</p>			
＜成果＞			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料や副読本を活用することで、正しい知識を客観的に知ることができた。 ○ 正しい知識を知ることで、普段からどのような行動をすればよいのか具体的に考えることができた。 ○ 全体計画を作成することで指導の系統性がわかり、見通しをもって学習を進めることができた。 			
＜課題＞			
<ul style="list-style-type: none"> ● 放射線教育を行うにあたり、教師の研修がとても重要である。 ● 調べ学習だけでなく、放射線量を測る活動など実際にやってみてもよい。そのためには測定機器などの準備が必要である。 			
資料作成担当者職（教諭）氏名（矢作啓太・矢内丈博）	学校電話番号（82-3011）		

【資料作成上の注意】

1. 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
2. 提出期限の平成28年8月1日（月）までに電子メールで送信してください。
 （送信先：kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp）